# MS751

305115

## □要

### □明

MS751□、表皮癌の女性患者の子宮から分離された腫瘍原性のヒト子宮頸癌細胞株である。この細胞 □もともと転移リンパ節から得られたもので、ヌードマウスに異種移植すると低分化表皮癌（グレードIII）を形成する。MS751細胞の腫瘍形成性と転移性□、子宮頸癌の転移と腫瘍の進行に関与するプロセスを研究するための貴重なモデルとなっている。これらの細胞□、特に低分化癌に関連して、上皮間葉転換（ EMT）、浸潤、転移を調べるのに有用である。

MS751の重要な分子的特徴の一つ□、ヒトパピローマウイルス（HPV）配列の存在である。もともと □HPV-18を含むと報告されていたが、より最近の研究で □ ′ MS751細胞□HPV-45の部分配列、特にE6/E7領域を含み、これら□ポリ（A）+RNAとして発現することが証明された。 E6およびE7オンコプロテイン□、それぞれp53およびRbの腫瘍抑制機能を破壊する役割でよく知られている。これらのウイルス配列が存在することから、 MS751□HPV関連子宮頸がんに関する研究、特にHPV-45が子宮頸細胞の悪性化にどのように寄与するかを調べる研究に非常に適している。

MS751細胞□、多くの子宮頸がん細胞株に特徴的な上皮形態を示す。MS751細胞□ ′ HPVを介した発癌の分子機構の研究、創薬や治療法のスクリーニングに広く用いられている。MS751□、その転移性起源とHPV配列の存在から、子宮頸癌の進行を研究し、ウイルス経路と腫瘍関連経路の両方を標的とする治療戦略を試験するために不可欠なモデルとなる。

| | |
|---|---|
| ティッシュ | 子宮頸部 |
| 病気 | ヒトパピローマウイルス関連子宮頸部扁平上皮癌 |
| 転移部位 | リンパ節 |

同義語

- MS-751
- MS 751

## 分類

| | |
|---|---|
| 生物 | 人間 |
| 成長特性 | アドヘレント |
| バイオセーフティレベル | 1 |

## 特徴

| | |
|---|---|
| 形態学 | 上皮 |
| 腫瘍形成性 | □い、ヌードマウスで低分化表皮癌（グレード III）を形成します。 |

## 識別子

引用

MS751（Cytion カタログ番号 305115）

| | |
|---|---|
| **NCBI** 納税者番号 | 9606 |
| セロサウルス | CVCL_4996 |

## 発現と感受性

抗原発現

血液型AB型、Rh＋型

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

ウイルス

HPV18、HPV45

## 取り扱いと飼育

培地

EMEM（MEM Eagle）、w：2 mM L-グルタミン、w：2.2 g/L NaHCO3、w：EBSS（Cytion論文番号820100a）

| | |
|---|---|
| 培養雰囲気 | 37℃、5%CO2、加湿雰囲気。 |

サプリメント

培地に10%FBS、1%NEAA、1.0mMピルビン酸ナトリウムを添加する。

| | |
|---|---|
| 解離試薬 | アキュターゼ |

継代培養

接着した細胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコで□3-5ml、T75フラスコで□5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコで□1-2ml、T75フラスコで□2.5mlのアキュターゼで細胞を完全に覆う。室温で 8-10分間インキュベートし、細胞を剥離させる。インキュベーション後、細胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、細胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

| | |
|---|---|
| 流体の更新 | 週2～3回 |

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

## 品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染□、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物 □毎日目視検査が行われる。

| | |
|---|---|
| 凍結培地 | 凍結保存培地として□、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、また□回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。 |

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存□、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株□、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

## 寄付者

| | |
|---|---|
| ドナーの年齢 | 47年 |

## 法務・安全

### 安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣　□不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また□液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に □、フェイスマスクまた □安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ □、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

### 保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。
当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細について□ ′ <a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

| | |
|---|---|
| 物質移転契約書の締結が必要 | Yes |

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB